



奥間っ子

国頭村立奥間小学校
学校便り「奥間っ子」
第7号 2021/7/1
校長：具志堅勝司

千賀子さんによる読み聞かせ

6月25日
(金)にめだ
かの学校から

宮城千賀子さんによる読み聞かせを行いました。慰霊の日の週ということで「白旗をかかげて」という題の紙芝居をリモートで読んでくれました。千賀子さんの真に迫る声の演技にどの児童も集中して聞くことができました。子どもたちも戦争の恐ろしさ、怖さを実感したようでした。



大田吉子さんによる戦争体験のお話

6月21日～25日にかけて、各学級の道徳や学活の時間を利用して、大田吉子さん、孝全さん夫妻

による戦争体験の話をVTRでテレビ視聴しました。戦争が始まった当時10歳だった吉子さんは奥間の山奥に逃げて、昼間は洞窟に隠れ夜に食料を探しにふもとへ出てきた話や辺土名の海がアメリカ軍に取り囲まれた様子や山手に避難して戻ると自宅付近は焼け野原になっていた等、この地域も大変な状況になっていたことを語ってくれました。また、避難生活の苦労や家族を失うお話も悲しみをこらえてお話くださいました。児童らは「何で戦争が始まったの?」「防空壕って?」と新たな疑問がわき、どうして慰霊の日があるのか、今、自分に

できることは何だろうと話し合っていました。



枝打ちしました

6月25日(金)夕方、環境・体育委員会の一部保護者と本校の男性職員で正門の

ガジュマルの枝打ち作業を行いました。本来はPTA全体で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止と緊急事態宣言中ということもあり限られた人数で実施しました。ありがとうございました。おかげで正門付近は日当たりがよくなり、視界もだいぶ開けて見通しがよくなりました。2回目は運動会前の9月3日を予定しています。コロナの関係もありますが、次回は多くの人数で作業が実施できればと思います。



